



# よ坊さんだより

▼14▲

最新の人口動態統計調査などによると、日本人の2

人に1人ががんになり、3人に1人ががんで死亡しています。今年6月に政府はがん対策推進基本計画を5年ぶりに見直し、その中で今回初めて「医科歯科連携による口腔ケアの推進」が明記されました。

がんの手術後には免疫力が低下し、口の中の細菌が原因となって肺炎になるケースがあります。またがん患者の全員に口腔粘膜炎

治療時（手術療法・化学療法・放射線療法）によるお口の中の合併症は口内炎、出血、味覚障害、むし歯や歯周病の悪化などさまざま

（口内炎）が起こります。痛みが激しくなると、食事を取ったり、薬を飲んだり、会話をすることも困難になり、生活の質が著しく低下するばかりでなく、治療の妨げにもなってしまいま

す。がん治療が始まる1、2週間前には、かかりつけの歯科医院を受診して、歯石を除去や簡単なむし歯の治療、フッ素塗布、入れ歯の調整などを済ませておきましょう。合併症の口内炎や

## がん治療前に口腔ケアを

です。抗がん剤治療を受ける患者の40%、骨髄移植を受ける患者の75%、頭頸部がんの放射線治療を受ける患者の全員に口腔粘膜炎

がん治療が始まる1、2週間前には、かかりつけの歯科医院を受診して、歯石を除去や簡単なむし歯の治療、フッ素塗布、入れ歯の調整などを済ませておきましょう。合併症の口内炎や

健康な人も、普段から定期的に歯科を受診し、日常の口腔ケアをしっかりとしておくことが大切です。

（京都府歯科医師会 調査・医療管理部長 上田賢）  
\*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。

り、入院期間を短縮する効果もあります。また、自分にあった歯みがきのしかたを指導してもらいましょう。口腔ケアによって、がん治療による口腔内のトラブルは

合と比べて4分の1に減ったというデータもあります。

健康な人も、普段から定期的に歯科を受診し、日常の口腔ケアをしっかりとしておくことが大切です。

（京都府歯科医師会 調査・医療管理部長 上田賢）  
\*「よ坊さん」は日本歯科医師会のイメージキャラクターです。